

受付番号

※記載不要

平成30年 月 日

企画提案書

- ・企画提案書の各記入欄の大きさは変更してよい。
- ・各記入欄の記入時の補足情報として記載している赤字「※」は削除した上で、提案内容を記載すること。
- ・提案者を連想させる記載はしないこと。

提案事業名 RPAによる作業自動化の共同実証実験

1. 技術力・企画力

(1) RPAの活用にあたっての課題・問題意識に対する取組・提案

①RPAの活用により見込まれる効果及び効果の測定方法

※ 業務にRPAを活用した際の見込まれる効果（事務処理時間の縮減・作業の正確性向上等）及び、その効果の測定方法を具体的に記載すること。

(1) ②業務の性質に応じた適当なRPAソフトウェア

※ 本実証実験において使用する予定のソフトウェア及び当該ソフトウェアが最適であるとする理由を具体的に記載すること。

(1) ③RPAを適用する業務の選定手法・プロセス

※ RPAを活用する業務を選定する際の業務分析の手法及び手順を具体的に記載すること。

(1) ④RPAを継続的に機能させていくために必要なこと

※ 臨時業務の発生や人事異動等により生じる担当者の変更及び法令・制度の改正に伴う事務フローの変更がある中でRPAを継続的に機能させていくために、どのような観点で実証実験での取組を実施し、検証を行うか具体的に記載すること。

(2) 実証実験における研修や問い合わせ対応等の計画

※ 職員への研修や技術的な問い合わせ対応等をどのように実施するか具体的に示すこと。

(3) シンククライアント環境下における実証実験の可否

※ シンククライアント化された環境下での実験実施の実施が可能な場合、同環境下での実施方法について記載するものとし、実施に当たり、都において特別な対応が必要な事項がある場合は明記する（任意）。

(4) 追加提案

- ※ 募集要領2(2)ア～エ以外の観点で、有益と思われる取組案があれば記載すること(ただし、追加提案の実施については、都と協議の上で決定する)(任意)。

2. 事業の遂行能力

(1) 実施スケジュール

- ※ 事前調整、実証実験の実施、効果検証及び報告書の作成における各工程のスケジュールを個別具体的に明記すること。

(2) 実施体制

- ※ 責任者、担当者、緊急連絡先を含めて明記すること。
- ※ グループ応募の場合には、代表者及び各構成員の役割分担を明記すること。
- ※ 秘密の保持、個人情報の取扱いに対する体制についても明記すること。

(3) 導入等支援実績

- ※ 官公庁や民間事業者に対するRPA導入又は活用支援の実績を記載する(任意)。